

令和3年度 環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備“に取り組む	✓
昨年度から引き続き“環境整備“に取り組む	
昨年度までの“環境整備“を経て、今年度より事業化に取り組む	
昨年度までの“環境整備“と“支援チーム派遣(事業化支援)”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：一般社団法人をかしや

活動地域：愛媛県今治市と松山市

活動におけるテーマ・キャッチコピー

「道」にまつわる物語を紡ごう

活動団体紹介

(一社)をかしやの業務内容

- 自然体験
 - エコツーリズム
 - プロガイド(インタープリター)養成
- 環境教育
ファシリテーション

※をかし=古語
楽しい、ゆかいな

体験、ツーリズム



明るく楽しく持続可能な

いとをかしき世の中



団体HP <http://www.wokasiya.jp/> FB <https://www.facebook.com/wokaiya>

インタープリターとは? <https://kankou-redesign.jp/authors/kikuma-akira/>

プロジェクト紹介

- 今回の事業では、**愛媛県今治市、松山市**を一体の地域として捉え「**道にまつわる物語**」を紡ぎます！



ありたい地域の未来を実現するために何をするか

ありたい地域の未来

国道317号をシンボルとして今治、松山が一体の地域となる。エネルギー、経済、ツーリズムの地域循環。

課題（地域の課題、ありたい未来を達成するための障害など）

- ・ 今治と松山という行政区分。それぞれの住民の意識も全く異なる。
- ・ 今治は造船の街。「今治造船」を頂点としたヒエラルキー。依存体質。

資源（活用できる地域資源、必要な資源、地域外の資源など）

- ・ しまなみ海道、松山城、道後温泉、鈍川温泉、瀬戸内海の島嶼美。
- ・ 昨年松山市が、SDGs未来都市、自治体SDGsモデル事業に採択された。

取組（ありたい未来達成に必要な取組、現在想定している事業のタネ）

- ・ ワークーション、マイクロツーリズム、エコツーリズム、自然体験。
- ・ エネルギーと経済の地域内循環。再生可能エネルギーの普及促進。

成果（取組によって出したい成果）

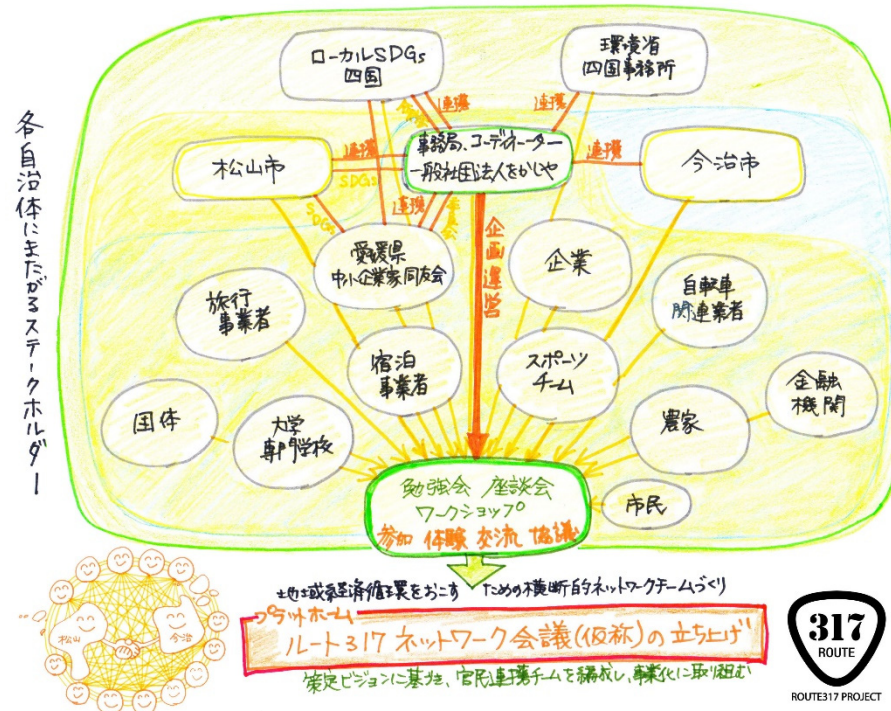
- ・ 産官学金が連携したプラットフォーム。信頼できる仲間づくり
- ・ 3年後にきっちりと事業化をする。

目指す"地域プラットフォーム"のイメージ

現時点での体制

- いくつかのプラットフォームが同時並行して進んでいる。当団体はその全てに関わっているので、それらに「横串」を刺したい。
- 四国レベル・・・ローカルSDGs四国（環境省四国事務所、中小企業家同友会、四国内の環境NPO/NGO）
- 市町村レベル・・・松山市SDGs推進協議会
- 大学レベル・・・愛媛大学SDGs推進室

環境整備を通して構築する"地域プラットフォーム"のイメージ



年間スケジュール（参考資料）

